

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
作詞・作曲 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	古峰琢磨/杉山航平 川島基宏/須藤直也			実務 経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
アーティストやゲーム音楽、映像作品への楽曲提供に加え、楽器演奏やDJとしてステージに上がるなど各々が様々なジャンルにおいて活躍している。											
授業概要											
Real Dreamsオーディション用音源の制作、他外部オーディション用デビューに向けた楽曲制作を制作することを最大限の目的とする。 楽曲の構成・各セクションの機能を理解し、ヒット曲の分析も行い、分析結果をもとにセクションでのメロディー制作のノウハウを習得する。 同時にコード進行制作や編曲も学び、デビューに向けた楽曲を完成させることを目的とする。											
到達目標											
各々の音楽活動内容に合わせた楽曲を制作できるようにすることを目標とする。 卒業時まで可能な限りの曲数を制作し、また多くのスタイル（パターン）の楽曲を完成させることを目指す。 コラボレーション作業によりコミュニケーション能力の向上を身に付け、チームプレイの大きな利点でもある完成度の高い作品を輩出できるようにすることを目標とする。											
授業方法											
この授業では自分が作り出したメロディーをクリエイターとタグを組んで制作していく。自分が表現したい曲の世界観をリファレンス楽曲などを使用したりして伝えていく。ボーカルの生徒、クリエイターの生徒の双方がリファレンスやテーマを共有することで1曲を完成させ仕上げていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
楽曲制作をする上でのオーダー力とオーダーを受け取る側のイメージネーション能力が非常に重要となってくる。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	共働作曲のメリット・デメリットについて理解する Co-write作品の分析を行う										
第2回	ペアリングを行い作業工程のスケジューリング・行程内容を打ち合わせる										
第3回	作詞・作曲を行う 作業分担に関しての明確な配置を完了させる										
第4回	編曲に関してのアイディアを出し打ち合わせる 編曲の方向性の決定										
第5回	①作詞決定②メロディー作成③ベーシックアレンジを確定させる										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
作詞・作曲 4	
第6回	アディショナルアレンジメントの構成を決定させる インストゥルメンテーションの確定
第7回	DAWによるプリプロ音源の制作 仮歌レコーディング
第8回	レコーディングに向けての譜面作成 演奏者選出 スケジューリング等準備を行う
第9回	ベーシックリズムのレコーディング スタジオワークとは何かを理解する
第10回	オーバーダビングを主とする単発楽器録音を行う
第11回	アディショナルセクションのレコーディング（ストリングスセクション）
第12回	アディショナルセクションのレコーディング（プラスセクション）
第13回	ミックスダウン作業（バランス取り）を行うことにより音色・定位に対しての理解を深める
第14回	各種エフェクトの挿入作業 コンプレッサーを含むプラグインエフェクターの知識を付ける
第15回	完成音源の発表により評価をもらい各自弱点を認識し改善を試みる